

富谷小だより

渋谷区立

富谷小

学校通信

学校は楽しいところ、自ら楽しくするところ

校長 石川 亜由美

7月には、熊本県が大きな地震に見舞われました。8月には、茨城県に台風が上陸し、千葉県や北陸地方では豪雨により、それぞれ大きな被害がありました。保護者や地域の皆様の中にも、ご親戚やお知り合いが被災され、ご心配されている方がいらっしゃるかもしれません。

被災された皆様にお悔やみ申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。

さて、長い夏休みが終わり、学校生活が始まりました。お子さんたちは、8月31日の登校をどのような気持ちで迎えたでしょうか。学校が始まり、先生や友達に会えるのを楽しみにしていたお子さんもいれば、少し憂鬱な気持ちになったお子さんもいるかもしれません。

学校は子供たちにとっても教職員にとっても楽しい場所でありたいと思っています。

本校では、夏休みが開ける直前に、学校運営協議会主催の行事「ワックワックとみがや」を開催しています。これは、「夏休み明けの学校が子供たちの幸せな場所であるよう、みんなで楽しくおしゃべりできるイベントにしよう」というコンセプトで行っているものです。今年もたくさんの子供たちの参加がありました。

学校が中心になって行っているものは、「夜

の学校探検」です。参加児童が年々増え、今年は、全児童の四分の一にあたる150名ほどの子供たちの参加がありました。また、保護者の皆様や弟さん、妹さんたちもたくさん参加してくださいました。

先生たちは、校舎内のあちらこちらに仕掛けをし、子供たちがどきどきわくわく楽しむ姿を想像しながら潜んでいました。

コースを回り終わった子供たちは、久しぶりに会った友達や先生たちと楽しそうにおしゃべりしていて、とても微笑ましく思いました。

これは、楽しませてもらう、いわば、受け身の楽しさです。一方で、学校で過ごす多くの時間（授業や委員会や係等の活動、行事等）は、自分から積極的に関わることで楽しくなるものだと思います。自分の目標やめあてをもち、うまくいかないことがあっても、「もう一度やってみよう」「友達に声を掛けてみよう」「自分にできることを探してみよう」と一歩踏み出すことで、学びや活動は自分のものになっていきます。

子供たち一人一人が、学校を「楽しくしてもらう場所」ではなく、「自分たちで楽しくしていく場所」と捉えて行動できるよう、日々の授業、活動や行事、友達との関わりの中で、挑戦する姿や協力する姿を温かく見守り、全力で応援・支援していきます。

